

### ■ドイツ：送電線増強が進まない場合にはドイツ南部の電気料金が上昇

南北送電線の建設が進まないドイツでは、南北で市場が分割される可能性があり、その場合、バイエルン州やバーデンビュッテンベルク州などの南部の電気料金が10%上昇するとの想定が2014年10月5日に報道された。これは、欧州委員会の委託調査が一部のマスコミに流れて明らかになったもので、その理由として、5基の原子力発電所が閉鎖された南部で供給力が大幅に不足しており、その対策費用として数億ユーロかかることがあげられている。2022年までにはバイエルン州でさらに3基の原子力発電所が閉鎖される予定であり、事態はさらに悪化する模様である。こうした状況の中でも、同州のゼーホーファー首相は、南北送電線の増強計画に反対する意向を変えていない。同首相は対案として南部にガス火力発電所を建設する案を示している。